

第37回

KTC ケーティーシーベトナム



●業務内容

ゴムB練り製造、精密ゴム圧縮成形、打ち抜き加工、研磨、塗装、組立て

●住所

TAN THUAN EPZ Rd.8,7 District,
Tan Thuan Export Processing Zone
Ho Chi Minh

●ハノイ工場

TAN QUANG INDUSTRIAL,
TAN QUANG COMMUNE,VAN LAM DIST,
HUNG YEN PROVINCE

今回は、ホーチミン市7区のタントアン輸出加工区にて主にOA機器や自動車で使用されているゴムローラーやゴム部品の製造を行っているKTCベトナムの竹内社長にお話をお伺いしてきました。

一 会社概要を教えてくださいませんか？

弊社は、1995年8月にホーチミン市7区のタントアン工業団地に設立されまして、今年が18期目になります。工場の敷地面積が3,200㎡、従業員は145名の体制で売上高は今期は450万USDを目指しております。設立にあたっては、名古屋市に本社を置く株式会社カテックスが70%、三重県鈴鹿市に本社を置く株式会社ツワンが30%を出資しており、資本金230万USDの合弁会社として設立されました。

主な製品は、コピー機やプリンターなどで使用されるOA用ゴムローラー、自動車関係のグロメットやパッキン、携帯電話の振動モーターに使用されるモーターカバーなどを製造しています。現在は売上の約

70%がゴムローラーとなっており、主にハノイにある日系の大手複合機メーカー様に販売させていただいています。

一 進出の経緯を教えてくださいませんか？

弊社は、ベトナム進出が1995年と他の日系企業さんよりも、早い段階で進出しておりますが、そもそもは弊社の取引先メーカー様がマレーシアに工場を建設され、そこに部品を供給するために海外拠点を設立する必要から、ベトナム進出に至りました。

お客様がマレーシアで、なぜベトナムなのかと思われるかもしれませんが、実は当初はマレーシアへの進出を念頭に海外工場の設立を考えておりましたが、本社の代

表が、マレーシア、タイ、ベトナム、中国などを視察した際に、ベトナムの若く活気があり、真面目で勤勉な国民性を非常に気に入りまして、ベトナムへ投資することを決めました。

当時はまだ外資系企業が入居できるような工業団地というものがない状態でした。このタントアン輸出加工区も、近隣のフーミーフン地区も今でこそ外資系企業や外国人居住者が多くなっていますが、その当時はまだ何もなかったと聞いています。

設立当初は、従業員数約20名、プレス機械8台でスタートしましたが、現在は日本人2名を含め従業員は145名、プレス機械は18台にまで増えました。



その後、日本での弊社取引先大手メーカー様が北部のハノイに多く進出されたこともあり、2004年にはハノイにも工場を建設しました。現在ハノイでは350名の従業員が製造を行っています。現在はゴムローラーのゴム部分などの製造はホーチミン工場で行い、ハノイ工場では研磨とシャフトへの圧着を行い、お客様に納品しております。

一事業でお困りの点はどのようなことがありますか？

弊社の進出したタントアン輸出加工区は、湿地帯に作られていますので、非常に地盤がゆるいのが特徴でして、弊社も工場建設の時に通常の2倍以上のパイルを入れたと聞いております。また、地下から水が上がってくるので、床の塗装がすぐに剥がれてしまいますので、現在、日系の塗装業者をお願いをして、4重にコーティングをしてもらう対策をしています。

また、弊社の業界の製品は、近年地場のローカル企業でもそれなりの製品を製造できる企業が育ってきており、価格競争も激しくなっています。

一ベトナム人従業員の評価は如何でしょうか？

現在弊社では145名の従業員がおりますが、私が直接管理しているのは間接部門の17名になりますが、その中でも日本語対応可能なスタッフ、英語対応可能なスタッフが数名おりますが、語学の部分では非常に優秀な人が多いように思います。

また、基本的には真面目な人が多いと思います。ただ一方で、指示待ちといいますが、言われた事だけをこなせば良いという考えの人が多いようにも感じています。もっと積極的に業務に取り組んで欲しい

と考えていますが、まだまだ少ないのが現状です。弊社では、従業員により積極的に業務に関わってもらうために、現在社員による提案制度を設けて会社にとって良い提案をした従業員には、皆の前で表彰するようにしています。

また、現場のワーカーにも上昇志向を持ってもらって、現場から上がってきて欲しいと思っているのですが、実際には与えられた仕事をこなすだけといった人が多く、高い意識を持った人は少ないように感じています。

一離職率などは如何ですか？

弊社の場合、定着率が93%ですので、離職率はそれほど高くないと思います。特に間接部門のスタッフは殆ど辞めませんし、創業当時のメンバーも会社全体で10名以上残っています。ただ、製造現場のワーカーは、比較的入れ替わりが激しいですね。福利厚生としては毎年忘年会を全社員と行っていますが、去年の忘年会ではスタッフの提案で手品師を呼びましたら、皆非常に喜んでくれました。

また、社員旅行も2年に1度行っており、前はプンタオへ行きました。

一採用は難しくなっていますか？

弊社の場合立地が比較的中心部に近いこともあり、物価の上昇に合わせてワーカーの賃金も上がってきており、以前のように低賃金で労働者を採用するというのは難しくなっています。弊社ではワーカーの採用は、工場の前に掲示を出したりして行っておりますが、スタッフについては人材紹介会社を利用しています。

一今後の展開を教えてくださいませんか？

最近、中国の諸問題もあり、中国ではなくベトナム及び東南アジア近隣国へ進

出をされる日系企業が増えてきており、今後もこの傾向は続くのではないかと思いますので、そういった企業の中から、新規の取引先が開拓できればと考えています。また、設備も現在の18台から今後3年間で毎年2台ずつ増強し、3年後には24台にまでしたいと考えています。将来的には拡張ならびに第二工場を設立したいと思っています。

弊社はOA機器のゴムローラー、自動車用のグロメット、携帯電話のモーターカバーなどには実績もございますので、そのような製品のご要望がございましたら是非ご相談頂ければ幸いです。

また、シリコンゴムに関しましては他社よりも価格優位性がございますので、ご購入がございましたら、是非一度ご相談いただければと思います。

一ありがとうございました。

